

# Osaka Metro まちさんぽ

文の里駅  
90分  
コース

谷町線 文の里駅

学芸の町・文の里

## 学芸の町から大蛇伝説の桃ヶ池へ

この付近には学校が多く集積しているので「文の里」という呼称がつけられ、昭和26年(1951)に町名になりました。

さらに、聖徳太子が大蛇退治をしたという桃ヶ池伝説が生まれるほど古い土地で、周辺で旧石器時代から江戸時代までの多くの遺跡が見つかっています。



学校の地図記号が「文」なので「文の里」になったといわれています。桃山・明浄・天王寺・工芸高校など明治から大正時代に創立された高等学校が集まっています。地域市民の文化活動も活発です。

新型コロナウイルス  
感染拡大防止のために

- 体調が優れない場合のご参加はお控えください。
- マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
- 混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。



文の里駅  
90分  
コース

# Osaka Metro まちさんぽ

谷町線 文の里駅

学芸の町・文の里

## 学芸の町から大蛇伝説の桃ヶ池へ

この付近には学校が多く集積しているので「文の里」という呼称がつけられ、昭和26年(1951)に町名になりました。さらに、聖徳太子が大蛇退治をしたという桃ヶ池伝説が生まれるほど古い土地で、周辺で旧石器時代から江戸時代までの多くの遺跡が見つっています。

スタート駅

約 90分

ゴール駅

### 谷町線文の里駅③号出口

### 谷町線文の里駅

#### 1 工芸高校本館

大正13年(1924)に建てられた本館は、大阪市の有形文化財、国の近代化産業遺産に認定されています。外壁のレンガ、大アーチの玄関入口、マンサード屋根(腰折れ屋根)の重厚でロマンあふれるデザインです。大正から昭和初期にかけて、教育においても自由な創造性を重んじた気風があらわれています。



#### 2 文の里公園慰霊塔

太平洋戦争末期、昭和20年(1945)2月14日のアメリカ軍による空襲で、B29爆撃機が阿倍野区内に3発の爆弾を投下しました。明浄高等女学校(現・明浄学院高校)裏に落下して犠牲になった人々の慰霊塔です。近くの美章園駅にも同じ空襲で駅舎に落下した1トン爆弾で被災した人々の「遭難供養之碑」があります。この空襲の後、大阪大空襲が8回繰り返されて終戦を迎えます。



#### 3 えのき 榎神社・桑津墓地

桑津村は『日本書紀』に記述がある古い村で、桑津墓地は奈良時代の僧・行基によって建てられたと伝えられています。神社の地形は小高くなっていて、かつて古墳であったとされています。



#### 4 桃ヶ池公園・桃ヶ池遺跡

この池は周辺の農地に水を供給する灌漑用の池で、かつては猫間川につながっていましたが、脛池(元禄期)、百池(寛政期)、股ヶ池(明治期)と表記が変わりましたが、いまは桃ヶ池と書かれています。このあたりは上町台地を南北に走る谷にあたり、池の周辺に弥生時代から中世にかけての桃ヶ池遺跡が見つっています。



#### 5 桃ヶ池伝説

桃ヶ池は、太古の頃から付近の田畑に水を供給する水量豊富な美しい池でしたが、いつの頃か大蛇が棲みつき、村人も恐れて寄り付かなくなり、池が荒れ果てて田畑に水が流せなくなりました。それを聞いた聖徳太子が使者を桃ヶ池に出向かせ、使者は池の中に入り、脚のモモまで水に浸かって大蛇を退治し、その後村人は安心して暮らしたということです。江戸時代の地誌『摂陽群談』には「池は東成郡南田辺村にあり、処伝に言へり、昔此の池に大蛇ありて人民の愁いなりき時に、聖徳太子人を使わせしめて池に入らむ。淵底深しといえども脛に及んで易く退治して愁を止めしむ。因って之を号す」とあります。これが書かれた元禄期には脛池という字があてられていたことがわかります。

#### 6 もも 股ヶ池明神

大蛇の死体は池の浮島に穴を掘って埋葬したとされています。しかしその後も怪異が続くというので霊をすずめるために「おろち塚」がつくれ、明治初期まで残っていたそうです。天明年間(1780年代)に角田某という人が、夢に出た蛇霊をすずめるために「おろち塚」の北側一丁のところに丸高竜王、丸長龍王として祀り、これが起源となって股ヶ池明神になったという伝承があります。



#### 7 文の里商店街

大正時代末期に商店が集まり始めて形成された約60店舗の地域密着型の商店街です。平成26年(2014)に、商店街の活性化を支援して大阪商工会議所が広告代理店のクリエイターとコラボして制作したポスターの展示で注目されました。いまでも商店街を歩くと、いくつもの刺激的なポスターが目飛び込んできます。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2021年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または  で検索

#### ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。  
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

#### ご案内

※駅スタンプは駅長室内に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

#### 駅スタンプ押印欄

